



1. 北西側俯瞰 2. 北側外観 3. 耐震壁 4. ショールーム

継承として、建設中に

掘削範囲の適正化などにより、全体で一〇・五カ月という短工期を実現している。

発生した残土を活用して施工者及び建築主も参画するワークショップで煉瓦を製作し、OKIの歴史を伝えるショールーム脇に煉瓦壁として設置している。

OKI本庄工場H1棟 概要

- 所在地 埼玉県本庄市小島南4-1-1
- 建築主 沖電気工業(株)
- 設計者 大成建設(株)
- 施工者 大成建設(株)
- 竣工日 2022年4月18日

- 敷地面積 124,157㎡
- 建築面積 9,789㎡
- 延床面積 18,832㎡

- 階数 地上2階、塔屋1階
- 構造 鉄骨造、一部木造



詳細や他の写真などは左記の二次元コードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館/エスコンフィールドHOKKAIDO/Otemachi One/OKI本庄工場H1棟/春日台センターセンター/京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)/高槻城公園芸術文化劇場/東京ミッドタウン八重洲/とこざわサクラタウン/那須塩原市図書館 みるる/福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館/MIYASHITA PARK/明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア/屋島山上交流拠点施設「やしまる」/読売テレビ新社屋



日建連表彰2024



第65回BCS賞

OKI本庄工場H1棟

選定理由

【選考委員】
稲山正弘・村松弘治・大西正修

沖電気工業(OKI)は、二〇五〇年度に工場を含む全拠点で使用するエネルギーについて実質CO₂排出量をゼロにする目標を掲げている。OKI本庄工場H1棟は、その実現に向けたフラッグシップ工場として、建物の外皮負荷削減や自然エネルギーの活用などのパッシブ技術を採用しつつ、最新の高效率設備機器の採用により、エネルギー多消費施設である工場の大消費エネルギーの削減を図った。加えて屋根に四八〇キワの太陽光発電設備を導入することで、BELS認証にて最高ランクの★5、及び大規模生産施設として国内初となるZEB認証を取得した。更にゼロ・エネルギーファクトリーを目指し、生産エリアも含めた評価指標ZEFを新たに構築し、生産の稼働状況と連動し

た照明・空調・換気の最適自動制御や機械学習を用いた熱源・空調の最適運転制御など、生産施設運用時のエネルギー消費を抑え管理する手法を導入している。結果として、竣工した二〇二二年には実稼働においてもNet ZEBを達成しており、竣工時点で基準値(既存実績値)から七五%のエネルギー削減を達成している。

構造計画においては、生産エリアの二〇×一八・七五の無柱空間実現のために、梁にはh二二・七〇〇の小さいスパン中央部の斜材をなくすことで、天井内のメンテナンス動線を確保するとともに、天井内空間は設備スペースとして有効活用し、生産に必要なユーティリティを自由に取り出せる計画としている。施工面においても、一階床架構を鉄骨造とし独立基礎を採用することで、床下の免震装置のメタルタッチ接合、

発生した残土を活用して施工者及び建築主も参画するワークショップで煉瓦を製作し、OKIの歴史を伝えるショールーム脇に煉瓦壁として設置している。また、埼玉県、林業業者、建築主、設計者・施工者の四者で「埼玉県森林づくり協定」を締結し、八杉におよぶ秩父スギの伐採跡地への植林や下草刈りなどを実践するなど、様々な取組みにより地域資源を再生・循環させる活動面においても、積極的な環境貢献意識が高く評価された。地域社会と共存し、災害に強く、環境負荷低減に配慮したフラッグシップ工場というコンセプトにふさわしい建物である。

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計・施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。